



産技高専NEWSは毎年2回発行する予定です

TOP NEWS

アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2021関東甲信越地区大会において両キャンパスの2チームが「特別賞」を受賞しました!



▼荒川キャンパス A チーム

▲品川キャンパス A チーム



2021年10月31日(日)にアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2021関東甲信越地区大会が「超絶機巧(すごロボ)」を課題としてオンライン開催されました。本校は、品川キャンパス高専ロボコン研究部から2チーム、荒川キャンパスロボット研究同好会から2チーム出場し、下記の2チームが特別賞を受賞しました。

【特別賞(マブチモーター株式会社)】:品川キャンパスAチーム プロジェクト名:飛沫ロボ(シブキロボ)
<評価点>3台のロボットに様々な技術を詰め込み、チャレンジしたこと、また、トップバッターの緊張の中、パフォーマンスを成功させたことが高く評価されました。
更に、なんでもやってみようという好奇心の旺盛さも素晴らしいと評価されました。

【特別賞(株式会社安川電機)】:荒川キャンパスAチーム プロジェクト名:haze_eater(ヘイズイーター)
<評価点>人やボールの早い動きをカメラで捉えてロボットに反映し、意図した結果を得ることは難易度が高く、この技術に挑戦したことを高く評価されました。また、パフォーマンスが上手い時の嬉しそうな姿もとても微笑ましかったとのコメントもありました。

後日、受賞したチームの学生が渡辺校長に受賞報告を行いました。

公式SNS等で注目された記事をご紹介します。

飛行ロボコンへ航空工作部が出場! 一般部門第3位、自動操縦部門第1位、 ベストデザイン賞を受賞!!

日本航空宇宙学会主催の第17回全日本学生室内飛行ロボットコンテストが、2021年12月17日(金)～19日(日)に大田区総合体育館で開催され、航空工作部が一般部門第3位、自動操縦部門第1位とベストデザイン賞を受賞しました。

一般部門には航空工作部の2年生を軸としたチーム「UNI(ウニ)」(谷口慎之介さん(航空宇宙2年)/リーダー兼パイロット、河合健太さん(航空宇宙2年)、白銀優樹さん(航空宇宙2年)、小野雅希さん(情報通信2年)、石橋歩武さん(航空宇宙5年))が、自動操縦部門にはチーム「まっしー」(村松武明さん(航空宇宙5年)/リーダー、吉井悠人さん(専攻科(機械)2年)/パイロット、小坂橋蒼さん(航空宇宙5年))が出場しました。

一般部門の「UNI」は大会初日の予選を第9位で決勝に進出し、翌日の決勝では進出11チーム中、第3位(副賞:JAXA賞)で入賞しました。

自動操縦部門の「まっしー」は大会初日の予選を第2位で決勝に進出し、翌日の決勝では進出5チーム中、昨年に続き第1位(副賞:FANUC賞)で入賞し、加えてベストデザイン賞(副賞:エアバスジャパン賞)も受賞しました。

【大会HP】: <http://indoor-flight.com/>



▲チーム「まっしー」と出場機



▲チーム「UNI」と出場機

全国高専デザコン 2021 プレデザコン部門 創造デザインフィールドで最優秀賞!

「第18回 全国高等専門学校デザインコンペティション2021 in 呉」が2021年12月4日(土)に、広島県呉市の呉工業高等専門学校で開催されました。品川キャンパス高専デザコン研究部から、構造デザイン部門に生産システム工学コース4年生6名と、プレデザコン部門に生産システム工学コース3年生1名が大会に参加しました。

プレデザコン部門では高専の本科3年生までを対象とし、空間デザイン、創造デザイン、AMデザインの三つのフィールドを展開します。創造デザインフィールドでは2022年に開催する熊本県の有明大会で使用するトートバッグのデザインを募集します。このフィールドで生産システム工学コース3年の上田晃大さんが最優秀賞(JST理事賞)を受賞しました。

【作品名】「紙ヒコウキ」

【作品コメント】

コロナ禍で秘めていたエネルギーを未来に向けて飛ばして欲しい、という願いから紙ヒコウキをモチーフとしてデザインをしました。背景の青海波で有明海を、太陽で明るい未来をイメージしました。今回の開催地である有明の海から、デザコンを経た高専生が明るい「みらい」へと飛んで行って欲しいです。



▲上田さんの作品



▲渡辺校長への報告の様子

Hack U KOSEN において プログラミング研究部が高専機構賞を受賞!

Hack U KOSEN 2021において本校プログラミング研究部のチームが高専機構賞を受賞しました。

大会のテーマは「UPDATE Kosen Life -高専生活を私達でアップデートしよう-」となっており、本校のチームは、東京都立大学法人が気候非常事態宣言を発出したことを受け、二酸化炭素の排出量削減に向けた行動変容を促すためのアプリを開発しました。エレベータに乗った時と階段を使った時でそれぞれのくらの二酸化炭素を排出したかを計算し、その行動が地球温暖化にどれだけ影響を及ぼしているかを提示するアプリを作成し、アプリのアイデアと完成度の両方が評価されて高専機構賞を受賞しました。

【大会HP】: <https://hacku.yahoo.co.jp/kosen2021/>



▲渡辺校長への報告の様子

本校公式コンテンツリンク集

